

ホタル通信

Vol. 50

下関市立豊田中央病院広報委員会
〒750-0424

下関市豊田町大字矢田 365 番地 1

電話：083-766-1012

FAX：083-766-1439

～地域密着 いつでも安心 豊田中央病院～

■ホームページ <http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/toyotabyoin/index.html>

■公式 Facebook (フェイスブック)



院長 吉富 崇浩

年頭のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も変わらぬご厚情のほど宜しくお願い申し上げますとともに、皆様にとって明るい一年でありますよう祈念いたします。

昨年、依然として猛威を振るう新型コロナウイルスに振り回される1年となりました。当院も2度の新型コロナウイルス感染者に対する即応病床対応のため、地域の皆様には大変なご不便とご心配をおかけしました。昨年当初に比べると、ワクチンの接種や、重症化を防ぐ治療薬の開発などが進んでおりますが、オミクロン株や未知の変異株の出現など、まだまだ予断を許さない状況に変わりありません。そのような中ではありますが、昨年には外科常勤医として浦松先生を新たに迎え、より幅広い診療を行う体制が構築できました。

新型コロナウイルスワクチンについては、症状を抑える効果、重症化を防ぐ効果が明らかとなっております。2021年末現在、下関市内では高齢者は92%、12歳以上では84%の方が2回目の接種を終えています。これまで機会を逃していらっしゃった方は是非ワクチン接種をご検討ください。当院では現在もワクチン接種を継続しておりますが、予約は市のコールセンターおよびwebサイトからとなります。3回目の接種については、詳細が決まり次第案内させていただきます。

コロナ医療と地域医療を両立すべく、スタッフ一同、徹底した感染対策を継続し、気を引き締めて診療に従事してまいります。何卒よろしくごお願い申し上げます。

とよたび／やまぐち地域医療セミナーを開催しました！



令和3年12月27日から28日までの2日間、下関北部地域において、“つながる・つなげる”をテーマに『とよたび／やまぐち地域医療セミナー』を開催しました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大により延期となっていた“やまぐち地域医療セミナー”との共同開催となり、山口県内の大学と看護学校から看護学部、栄養学部、経済学部、国際総合科学部の学生22名に参加していただきました。この企画は将来を担う次世代の人材を、多職種連携を軸に地域で育てるため、へき地における地域医療についての学びだけでなく、地域の魅力を体験し、地域住民との温かなふれあいを通じて、“つながる・つなげる”を感じていただく実習となりました。

1日目は豊田町に住む人々の暮らしを知るフィールドワークとして「とよたふれあいまちあるき」を行い、一ノ俣地区・西市の歴史・榎原ゆうあい会・みのりの丘の4グループに分かれて、各地域の案内人より紹介をしていただきました。また、豊田を守る地域包括ケアの体験「密着取材！地域包括の担い手たち」として、町内の医療機関や薬局、介護施設、多職種会議、訪問看護、院内の各診療科にて様々な職種の体験を行いました。2日目は蛸籠を作りながら住民と語り合う「ほたるかごで紡ぐ縁」、西市公民館にてしめ縄づくりやクイズを通じて住民とふれあう「キラキラサロン」、最後に4グループに分かれて振り返りやディスカッションを行い、地域医療の大切さ、地域の魅力や課題を知っていただけたのではないかと思います。



榎原ゆうあい会の柴田俊彦さんと村橋壽明さん



西市の歴史を語る伊藤修二さん



特別養護老人ホーム豊田喜楽園にてパンケーキ作り



麦わらを編んで蛍籠を作りました



ほたるかごプロジェクトの皆さんのご協力により美しい蛍籠が完成！



住民の皆さんとクイズ大会



しめ縄づくりにチャレンジしました！



地域の課題解決や今後の展望についてのグループ発表がありました。学生の皆さん2日間お疲れ様でした！

多学部の学生が集まった実習でしたが、この企画を通して学生同士の交流も深まり、コロナ禍において希薄となっていた“つながり”を取り戻す良い機会にもなりました。また、短い期間でしたが、初めて訪れた豊田という地域に積極的に関わり、課題や未来を真剣に考えていただいたことに感動しました。今後も学生の若い力とつながり続けることで、いつまでも健康で元気な町になることを願っています。

年の瀬の忙しい時期に、快く引き受けていただいた住民の皆様、また実習先として受け入れていただいた各施設の方々に心より感謝申し上げます。

新しい診療医師のご紹介



整形外科（非常勤）
わたなべ りえ
渡邊 利絵

初めまして。令和3年11月から火曜日午後の整形外科外来診療を担当している渡邊利絵と申します。平成元年に島根医科大学を卒業し、大学、神奈川県川崎市、宇部市、北九州市などの病院で今年の3月まで整形外科の診療をしていました。4月から下関市に所属、他の日は保健所の公衆衛生医師として勤務しております。リハビリテーションや痛みの治療（ペインクリニック）にも取り組んできた経験を生かし、皆様の手足首肩腰といった「運動器」の困りごとに幅広く対応します。いつまでも自由に動ける生活のお手伝いができれば幸いです。

【整形外科専門医・福祉住環境コーディネーター2級・防災士】
下関市（安岡）出身

新人職員のご紹介



氏名：^{かわむら} 千鶴【下関市出身】
診療科等：リハビリテーション科（作業療法士）
趣味・特技：散歩
自己PR

1月からリハビリテーション科に所属となりました。
よろしくお願いいたします。

花壇に冬の花苗を植えました！



令和3年11月25日にシモノセキ キラキラプロジェクトの活動の一環として、当院の花壇づくりでご協力いただいている地元の女性有志グループ『フラワーレディース』の皆様をはじめ、豊田地区まちづくり協議会、山口県立山口農業高等学校西市分校、山口大学国際総合科学部の学生とともに、冬の花苗を植えました。今回はハボタンやパンジーなど6種類の花苗を植えました。フラワーレディースの皆様にお力添えをいただきながら、水やりなどの手入れをしっかりと続けていき、大切に育てていきたいと思っております。これからも花壇づくり通じて、たくさんの方々と“つながる・つなげる”活動ができることを願っています。



花壇は病院駐車場入口（駐輪場そば）にあります。ご来院の際はぜひご覧ください。